



CHARM

報道関係各位

PRESS RELEASE

2024年9月19日

株式会社チャーム・ケア・コーポレーション

介護現場DX推進の取り組み

～ 業界初^{※1}！ AI技術搭載^{※2} ポータブルエコー 全ホーム導入～

当社は、エビデンスに基づいた介護・看護ケアを推進するため、2024年8月、当社グループが運営するすべての有料老人ホーム（93ホーム / 2024年8月現在）に富士フィルム株式会社製ワイヤレス超音波画像診断装置（以下、ポータブルエコー）を一斉導入しました。ポータブルエコーの導入によりご入居者様の健康状態を「可視化」し、エビデンスに基づいた最適な介護・看護ケアを実施し、QOL向上・介護スタッフの業務負担軽減を推進します。

～ 全ホーム導入に至った経緯 ～

ご入居者様の生活に大きな影響を及ぼす「排泄」において、認知症等の影響による排尿の失敗や、寝たきりの進行等で便秘傾向に陥り、うまく排便できないために刺激性下剤を慢性的に服用した結果、失便を繰り返すといった事例が多数あります。

当社グループではこれら排泄の問題を解決し、「いきいきと活力のある生活を取り戻してほしい」と願い、様々な手法で排泄の問題を解決すべく、教育・研修・実践を積み重ねてきました。しかしながら、解決に至らないケースが圧倒的に多く、介護スタッフは早期におむつを交換するなど、いわゆる「対処的ケア」をせざるを得ず、ご入居者様にご満足いただけない状況が続いています。

今回導入したポータブルエコーは、AI技術で排泄確認を支援するソフト^{※2}を搭載しており、当社の実証結果では、膀胱内尿量・直腸貯留便の有無を可視化することで、刺激性下剤の服用頻度・排泄に係る介護時間の劇的な減少が確認できました。

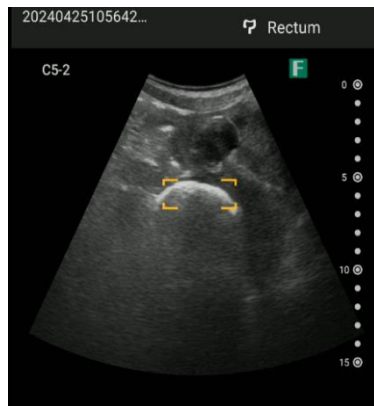
[ご参考 PRESS RELEASE 第3回慢性便秘エコー研究会において優秀賞受賞](#)

AI技術搭載 ポータブルエコー
iViz air（アイビズエアー）^{※3}



写真提供：富士フィルムメディカル株式会社

直腸貯留便をリアルタイムに
マーキングした画像^{※4}



当社導入ホームで撮影した実際のエコー画像

※1 当社調べ 介護保険施設・居住系サービスにおける導入実績

※2 AI技術の一つであるディープラーニングを設計に用いて開発した膀胱尿量自動計測 直腸観察ガイドPlus

※3 製品名 ワイヤレス超音波画像診断装置 iViz air

※4 AI技術の一つであるディープラーニングを使用して開発。

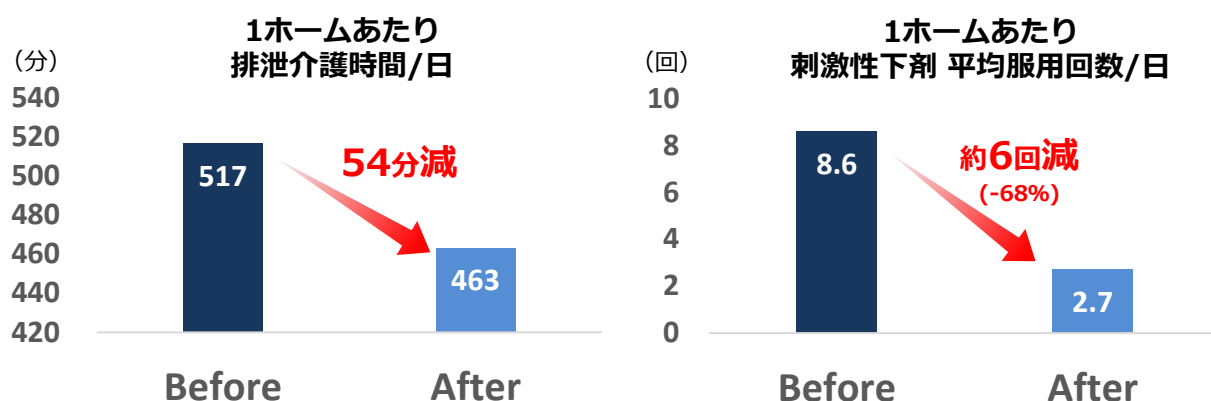
便あるいは空虚な直腸をリアルタイムにマーキングし検出をサポート。

「便なし」「便あり」「硬便」の典型的な画像を参考にしながら便性状の評価が可能

また、ご入居者様ご自身に効果を実感していただける事例も多数確認できたことから、ポータブルエコーがご入居者様のQOL向上・介護スタッフの負担軽減に貢献し、サービスの質を向上し、なおかつ生産性向上が期待できる機器だと判断し、全ホーム導入に至りました。

ご入居者様のインタビュー記事：[有料老人ホームの排尿ケアで活用されるポータブルエコー](#)
(医療従事者向け 富士フイルム社HP)

これまでの導入ホームにおける成果



看護スタッフによるエコー活用は一定の習熟が必要であるため、一般社団法人 次世代看護教育研究所のエコー教育プログラムを全ホームの看護スタッフが受講し、一斉にスキルアップを図ります。先進的な排泄ケアのノウハウを蓄積することで、一人でも多くの方の排泄の問題を解決し、当社ミッション「豊かで実りある高齢社会づくり」に貢献いたします。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社チャーム・ケア・コーポレーション
TEL : 06-6445-3401
FAX : 06-6445-3398

担当：介護DX推進課 大野



AI技術搭載ポータブルエコー
iViz air を使用し直腸貯留便を確認している様子

■ 会社概要

名称：株式会社 チャーム・ケア・コーポレーション

所在地：大阪市北区中之島3丁目6番32号 ダイビル本館21階

代表者：代表取締役会長 兼 社長 下村 隆彦

事業内容：「介護付有料老人ホーム」及び「住宅型有料老人ホーム」の運営ほか